

## 浜松市市民意識調査 【抜粋】

### 調査概要

・浜松市内に居住する15歳以上の市民を住民基本台帳に基づき無作為抽出し、郵送法により調査した。対象者数2,500人に対する回答者数は1,768人であり、回収率は 70.7% 。

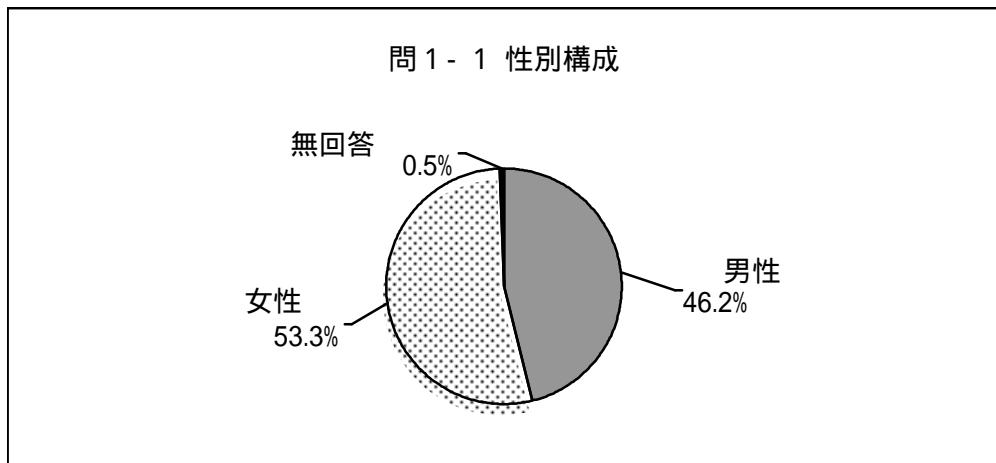
・調査期間 平成12年2月4日～2月28日

### 1.回答者のプロフィール

#### 問1 あなたのことについてお聞きします。

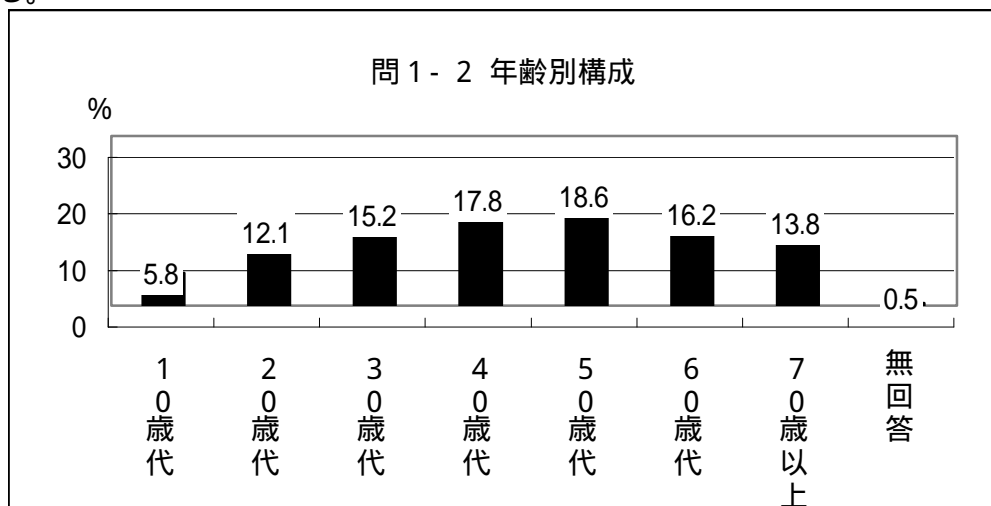
(1) 性別についてお聞きします。当てはまるもの1つに 印をつけてください。

・回答者の性別構成は男性が46.2%、女性が53.3%とほぼ半々となっている。



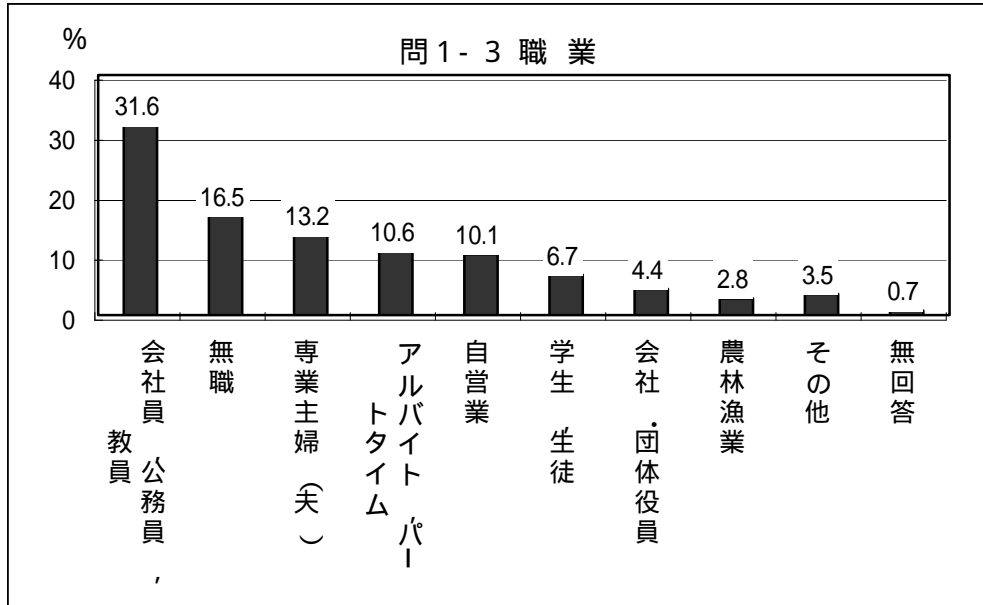
(2) 年齢についてお聞きします。当てはまるもの1つに 印をつけてください。

・年齢別構成は、10歳代がやや少なくなっているほかは、各年代がほぼ均等の構成となっている。



(3) 職業についてお聞きします。当てはまるもの1つに 印をつけてください。

・職業は、「会社員、公務員、教員」が最も多く、次いで「無職」、「専業主婦(夫)」、「アルバイト、パートタイム」、「自営業」の順となっている。



(4) 通勤先または通学先についてお聞きします。当てはまるもの1つに 印をつけてください。

・通勤・通学先は「浜松市内」が約6割と多い。「無回答」は約3割となっているが、これは職業の「専業主婦(夫)」と「無職」の構成比の合計に相当し、通勤・通学していない人とみなすことができる。

問1-4通勤 通学先 (%、人)

N	割合 (%)	人数
100.0		1,768
浜松市内	59.4	1,051
静岡市	0.3	5
浜北市	1.6	29
天竜市	0.2	3
湖西市	0.8	14
磐田市	1.5	27
袋井市	0.3	5
引佐町	0.4	7
細江町	0.6	10
三ヶ日町	0.0	0
雄踏町	0.2	4
舞阪町	0.2	3
新居町	0.3	6

竜洋町	0.4	7
豊田町	0.3	5
福田町	0.1	1
浅羽町	0.1	2
森町	0.0	0
豊岡村	0.2	4
その他静岡県内	0.5	9
豊橋市	0.3	5
名古屋市	0.2	4
その他愛知県内	0.2	4
その他	1.5	27
無回答	30.3	536

## 7 まちづくりへの参加 , ボランティア活動について

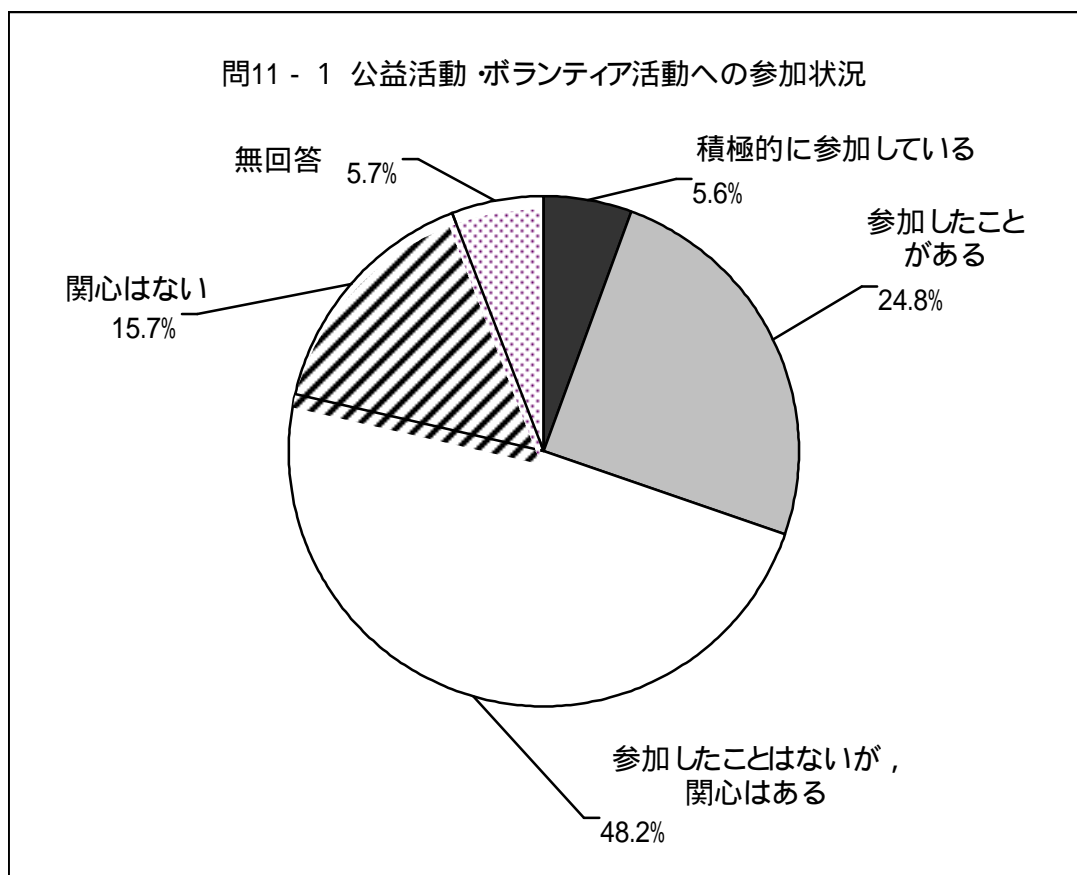
### 問 11 地域の公益活動やボランティア活動への参加についてお聞きします。

( 1 ) あなたは , 地域の公益活動やボランティア活動に参加していますか。当てはまるもの1つに 印をつけてください。

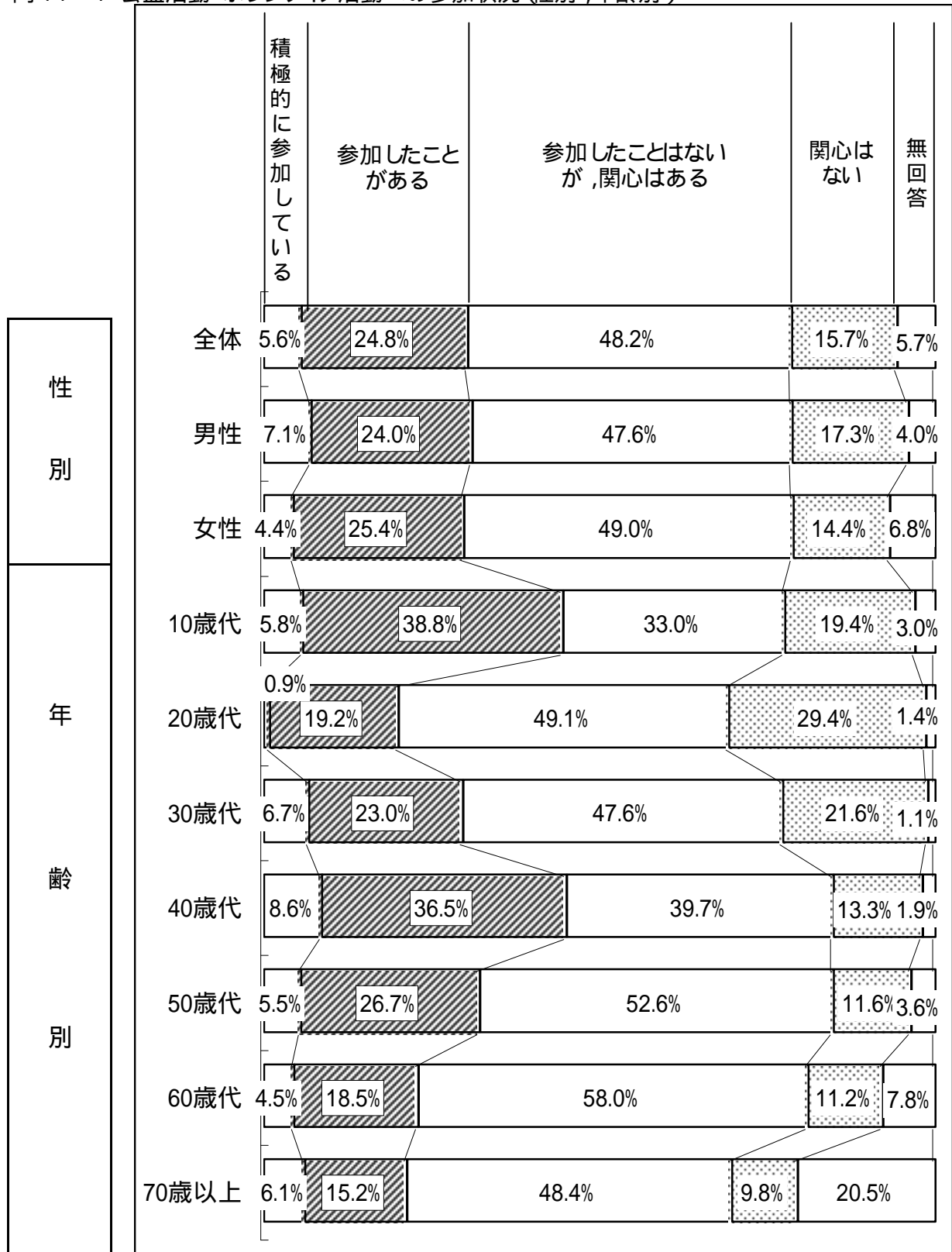
・公益活動・ボランティア活動への参加状況を見ると , 「積極的に参加している」が5.6% , 「参加したことがある」が24.8% , この2つを合わせた参加経験者は30.4%であり , 「参加したことはないが , 関心はある」とする関心層は48.2%に達する。一方「関心はない」とする無関心層は15.7%である。

< 性別 , 年齢別 >

・性別にみても男女間の参加状況に大きな差は認められない。年齢別にみると , 参加経験者は10歳代(44.6%)と40歳代( 45.1% ) が他の年代に比べ多い。20歳代は参加経験者が少なく , 無関心層も他の年代に比べ多い。

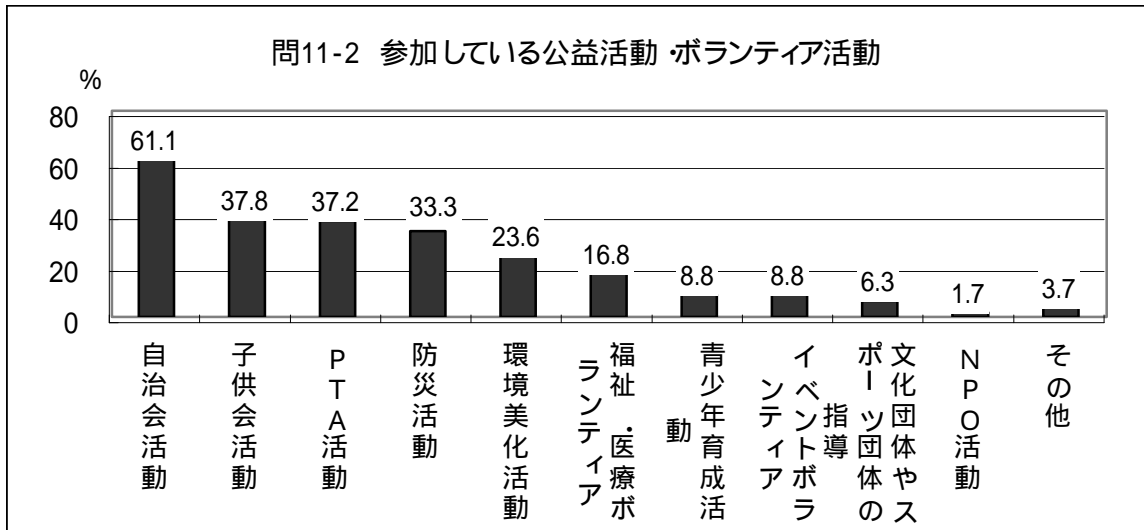


問 11 - 1 公益活動・ボランティア活動への参加状況 (性別, 年齢別)



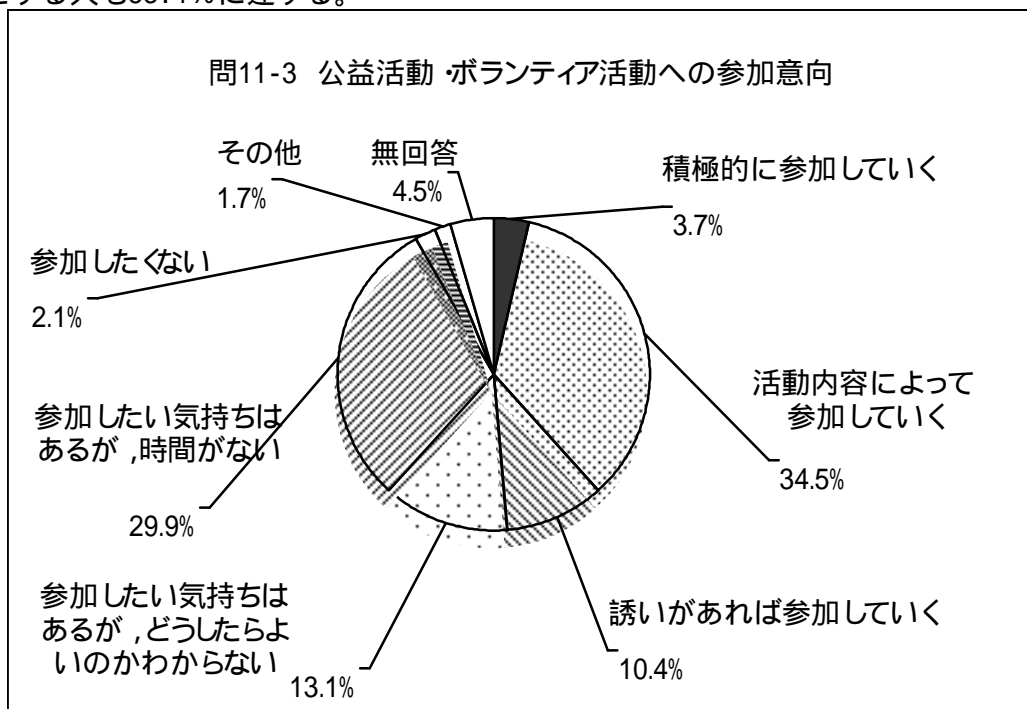
(2) (1)で「積極的に参加している」「参加したことがある」とお答えの方にお聞きします。あなたが参加した地域の公益活動やボランティア活動はどのようなものですか。当てはまるものいくつか 印をつけてください。

- ・参加している活動として最も多いのは「自治会活動」(61.1%)、2番目が「子供会活動」(37.8%)、3番目が「PTA活動」(37.2%)である。そのほか「防災活動」、「環境美化活動」も20%を上回っている。



(3) (1)で「積極的に参加している」「参加したことがある」「参加したことはないが、関心はある」とお答えの方にお聞きします。あなたは今後、地域の公益活動やボランティア活動に参加しますか。当てはまるもの1つに 印をつけてください。

- ・参加経験者及び関心層の今後の参加意向をみると、「積極的に参加していく」が3.7%、「活動内容により参加していく」が34.5%であり、前向きに取り組む意向の人が38.2%である。「誘いがあれば参加していく」、「参加したい気持ちはあるがどうしてもかわからない」、「参加したい気持ちはあるが、時間がない」など、参加するための何らかのきっかけを必要とする人も53.4%に達する。



(4) (1)で「積極的に参加している」「参加したことがある」「参加したことはないが関心はある」とお答えの方にお聞きします。市民が地域の公益活動やボランティア活動をするに当たり、行政はそれに対してどのようにかかわるのが望ましいと思いますか。当てはまるものを3つまで選んで 印をつけてください。

・行政の関わり方として「活動内容についての相談や情報の提供」(52.8%)と回答する人が最も多く、次いで「活動に当たっての資金的援助」(36.3%)、「活動内容についての方向性や具体的なアイデアの提案」(34.0%)、「ミーティングの場所や印刷機械の貸出しなど、活動を支える場所の提供」(30.2%)の順に多い。

